

## 公聴会意見に対する市の考え方について(川口都市計画火葬場)

平成23年11月11日(金)に上青木公民館において開催されました、川口都市計画公園の変更(案)及び川口都市計画火葬場の決定(案)に関する公聴会では、公述人2名の方にご意見をいただきました。そこで述べられた意見の要旨と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

番号	公述意見(要旨)	意見に対する市の考え方
	<p>斎場ができる事に関しては賛成。公園周囲の住民の生活が良くなる方法でお願いしたい。これから作られる斎場として、埼玉で一番と言われるような斎場計画には市民も期待している。</p>	<p>本計画では、火葬施設と公園を一体的に計画しており、自然、歴史・文化、社会・産業といった立地特性を踏まえ、広域的な集客性に配慮した水と緑のオアシス空間の創出を計画のテーマとし、持続可能な緑地・自然環境の保全、赤山城跡や安行の植木など歴史・文化をアピールする観光拠点・本市の新しい顔づくり、周辺公共施設との連携・回遊性の創出を計画の基本方針としております。</p> <p>隣接して計画されている(仮称)赤山歴史自然公園と調和した、水と緑に囲まれ、川口の歴史上由緒ある当地に因んだ水辺に佇む瀟洒な火葬施設となるよう検討して参ります。</p>
1	<p>昨年開催した検討委員会に、土地提供者、区域周辺の方がどのくらい含まれていたのか不明である。周辺住民も含めた話し合いが必要ではないか。</p>	<p>昨年度の(仮称)赤山歴史自然公園等検討委員会では、地元の町会長5名を含めて、学識経験者、市議会議員、関連団体の方々18名から提言をいただきました。また、今年度、公聴会に先立ち、地権者及び地元の5町会を対象として、住民説明会を開催し、さまざまなご意見を頂戴いたしました。</p>
	<p>火葬のみの施設ではなく、立派な斎場も併設していただきたい。それが早期建設を求める署名をした市民の願いと考える。一部の方々の考えで、火葬のみの施設にするということが、本当に市民が願っているものかどうか疑問である。</p> <p>市民は、安価での葬儀を求め、斎場の早期実現を願っているのではないか。</p> <p>遠方から車で火葬場に来るにあたって、川口PAを利用してのお通夜、お葬式ができれば素晴らしい。高速道路を降りずにお葬式に参列できるというのは、他県には例が無く立地的には良い。</p>	<p>本市には、40を超える祭事場やお寺等が存在することから、限られた公園及び火葬施設の敷地及び財源の中で、式場を整備することは考えておりません。</p> <p>なお、公園利用者と火葬施設利用者の動線が重複することがないように、出入口の分離等について十分に配慮して検討して参ります。</p>
	<p>旧鳩ヶ谷市社協の葬儀は、市民に評判が良かった。旧鳩ヶ谷の良いところは、川口市でもたくさん取り入れて頂きたい。</p>	<p>本市の葬祭事業については、旧鳩ヶ谷市における運用状況も踏まえ、今後、検討して参ります。</p>

番号	公述意見(要旨)	意見に対する市の考え方
2	<p>当該区域は、安行近郊緑地保全区域に指定され、また川口市都市計画基本方針において自然や農地の保全等方針について指針がなされている。</p> <p>川口市景観形成基本計画においても周囲と一体となった歴史や文化を感じることのできる景観を目指すとしており、当地に火葬場を設けることは、景観について不調和、不自然であり反対する。</p>	<p>火葬施設は、衛生環境の向上及び公共福祉のために必要不可欠な都市施設であるにも関わらず、市内には火葬施設がありません。</p> <p>平成13年2月、早期建設を求める請願が、川口市民14万320名から提出され、市議会にて全会一致で採択していること、また、火葬場難民と称される状況が生じているといった報道もなされていること、さらに、今後の死者数の増加に伴い、状況の悪化が見込まれることから、本市としては、市内に火葬施設が必要であると考えております。</p> <p>第4次川口市総合計画では、福祉の最終形態である火葬施設等の整備実現を掲げており、また、川口市都市計画基本方針では、火葬施設等の整備など総合的な施策の推進が必要としております。</p> <p>火葬施設の計画にあたっては、川口市景観形成基本計画に沿って、緑豊かなうららかな景観を目指し、隣接して計画されている(仮称)赤山歴史自然公園と調和した、水と緑に囲まれ、川口の歴史上由緒ある当地に因んだ水辺に佇む瀟洒な火葬施設となるよう検討して参ります。</p>



